



3.ウィンドウズエディタ

従来の HP BASIC 型のエディタ(レガシーエディタ)に加えて、HTBasic8.0 では新しく ウィンドウズ型のエディタもサポートします。この新しいエディタを使うには Option (オ プション)メニューから HTB Editor (HTB エディタ)オプションを選択します。

🛰 TransEra - HTBasic - [D¥HTBwin80¥AUTOST]	- O ×
崔 Eile Edit Search View Options Run Debug Help	_ 8 ×
High Tech Basic, Windows Release 8.0 Copyright (c) TransEra Corp. 1988-1999 All Rights Reserved.	

[HTBasic8の新しいコントロール・ツールバー]

<u>S</u> earch	⊻iew	Options	<u>R</u> un	<u>D</u> ebug	<u>H</u> elp
	Editor Environment <u>R</u> un Environment Change MSL. Keyboard Manning				
Receru	ved	H <u>T</u> B Ed	ditor	•	✓ Windows
1,63614	cu.	Edit on	<u>O</u> pen		Legacy

現在のエディタの選択状態に応じて Legacy オプションか Windows オプシ ョンのいずれかの脇に、チェック印がつ いて表示されます。 使用するエディタスタイルを Option HTB Editor で Legacy スタイルか、

Windows スタイルかオプションで選択をします。どちらかは、チェックマークで確認でき

ます。

まず、日本語表示ができるようにし ましょう。

Options¦Editor Environmentを ドッラグします。

ここでフォントを変更します。

🏊 TransEra - HTBasic	- [D:¥HTE	3win80¥Al	JTOST]
실 <u>F</u> ile <u>E</u> dit <u>S</u> earch	i <u>V</u> iew	Options	<u>R</u> un	<u>D</u> ebug
	#	<u>E</u> ditor I Bun En	Environ vironm	iment ent
10 20	RE Fo	C <u>h</u> ange Keyboa	MSI rd Map	oing ▶
30 40 50		H <u>T</u> B Ed Edit on	litor Open	•

この例では MS 明朝を選択しました。この操作により日本語の使用が可能なります。

dit Encernment	フォント	2
Text Coloring Convert Sing Left Narein Text Beskmound Select Text Select Text Select Text Beskground Find All Beskground Find All Beskground Keyword Color Default Color	フォンド(5) 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部 本部	08 4942-1218
Sample I & Comment on given Background Durrent Edit Font	Aaああアラ亜宇 書体の種類化 日本語 <u></u>	
Change Font. OK Cancel Detault	これは TrueType フォントです。プリンジム道面の前方で同じフォントを使用します。	•

アイネット株式会社 I²Net Co., Ltd. TEL: 03-5623-2301 FAX: 03-5623-2305 E-mail: sales@i2net.co.jp URL: http://www.i2net.co.jp/ 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1-1-9 川合ビル 7F HTB Asia アジア地域正規代理店





プログラム内でのコーディングでは、次の一行が必要になります。 CONTROL CRT,100;1 ! 実行時に日本語が使用できます。

新しいエディタの特色は次の通りです。

- 1) 行番号の表示/非表示切替え
- 2) テキストのカット、コピーおよびペースト
- 3) 操作の取り消し(Undo) およびやり直し(Redo)
- 4) ブックマークの挿入
- 5) ユーザ定義可能なソースコード・カラー
- 1) 行番号の表示/ 非表示切替え

Legacy エディタとの大きな違いは行番号の表示/非表示出来るようになったことです。 行番号の表示が"On"の場合、ウィンドウ型エディタでは行番号を編集するのに RENumber, COPYLINES および MOVELINES コマンドしか使えない事を除けば、 行番号の操作は Legacy エディタでの従来の操作と同じです。行番号表示が"Off"の場 合、行番号は表示されませんが、行番号自体が削除されるわけではありません。 MOVELINES コマンドのような編集用のステートメントでは非表示の行番号も参照す ることが出来、互換性が保たれています。

行番号の表示/非表示を行うには、プログラムウィンドから View(表示)メニューを選択 します。行番号表示が"On"の時には、Line Number(行番号)オプションの脇にチェッ クが表示されます。 また行番号の表示切替は、コントロール・ツールバーの Line Number(行番号)ボタンを使っても指定できます。(Appendix 1参照)

2) テキストのカット、コピーおよびペースト

新しいエディタでは、まず Windows 標準のマウス機能が実装されました。テキストの カット、コピーおよびペーストが出来るようになり、ソースコードをより手軽に編集す ることができます。

これらの新しい編集機能はプログラムウィンドの Edit(編集)メニューから選ぶことが 出来ます。 例えばコピーなら、Edit(編集)メニューから Copy(コピー)を選択します。 またマウスを使ってコピーしたい部分をハイライト(左ボタンを押しながら終点までド ラッグ)してから Ctrl+C を押すか、あるいは、エリア選択した時点で右クリックして ポップアップメニューを表示させ、そこからコピーコマンドを指定することも出来ます。

3)操作の取り消し(Undo) およびやり直し(Redo)

アイネット株式会社 I²Net Co., Ltd. TEL: 03-5623-2301 FAX: 03-5623-2305 E-mail: sales@i2net.co.jp URL: http://www.i2net.co.jp/ 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1-1-9 川合ビル 7F HTB Asia アジア地域正規代理店





Windows 標準として実装されたもうひとつの機能は、操作の取り消し(Undo) およ びやり直し(Redo)です。例えば直前の動作を取り消すには、Edit(編集)メニューから Undo(取り消し)オプションを選びます。取り消しは何度も連続して指定する事ができ ます。 また、ショートカットキーの Ctrl+Z(取り消し)、Ctrl+Y(やり直し)も使う 事ができます。

4) ブックマークの挿入

コード内より簡単に移動できるようにするために、新エディタにはブックマーク機能が 追加されました。ブックマークを挿入するには、ブックマークを挿入したい位置へカー ソルを動かしてから、サーチツールバーからブックマークメニューの Toggle Bookmark(ブックマーク挿入/削除)ボタン Appendix1 参照)を選びます。

選択された行の脇に、四角いマークが挿入されます。また Bookmark メニューから Add Bookmark(ブックマークを追加)オプションを選択するか、あるいは Ctrl+F6 キ ーを押してもブックマークを挿入する事が出来ます。

ブックマーク間を移動するには、サーチツールバーのブックマークメニュー (Appendix1 参照)で Previous Bookmark(前のブックマーク)ボタンか Next Bookmark(次のブックマーク)ボタンを選択します。 また、Bookmark(ブックマー ク)メニューから Previous Bookmark または Next Bookmark オプションを選ぶか、 ショートカットキーの Ctrl+F7 (Next)か Ctrl+Shft+F7 (Previous)を使っても移 動することが出来ます。

各ブックマークを削除するには、削除したいブックマークのある行へカーソルを移動し、 Bookmark(ブックマーク)メニューの Remove(削除)オプションを選択します。 (Bookmark メニューの Add Bookmark(ブックマークを追加)オプションはブック マークが選択されてアクティブ状態に、あるときには Remove オプションに切り替わ ります。)ブックマークが選択されているときに使える) または、Ctrl+F6 を押すか、 サーチツールバーから Toggle Bookmark(ブックマークを挿入/削除)を選択します。 ブックマークを全て削除するには、サーチツールバーから Remove All Bookmarks (全て削除)ボタンを選びます。

プログラム開発を軟に行うために、新エディタでは、ユーザーはコード中にエラーを残 しておくことができます。 エラーコードはデフォルトでは赤で表示されます。エラー 間を移動するには、サーチツールバー(Appendix1 参照)から、Previous Error(前 のエラー)ボタンまたは Next Error(次のエラー)ボタンを選びます。

アイネット株式会社 I²Net Co., Ltd. TEL: 03-5623-2301 FAX: 03-5623-2305 E-mail: sales@i2net.co.jp URL: http://www.i2net.co.jp/ 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町 1-1-9 川合ビル 7F HTB Asia アジア地域正規代理店







また Bookmarks メニューから Previous Error か Next Error オプションを選んでも 移動することが出来ます。

5)ユーザ定義可能なソースコード・カラー

ウィンドウズ型エディタでは、エディタ環境の色やフォントをカストマイズすることが 出来ます。個々のユーザの必要に応じて、ソースコードの色を個別に設定することが出 来ます。 キーワード、コメント、エラー、テキスト、プレイクポイントおよび各種背 景などの設定をしなおすことが出来ます。(Figure1:New Program Window 参照)

エディタのデフォルト設定を変更するには、プログラムウィンド(Appendix2参照) から Options(オプション) ¦ Editor Environment(エディタ環境)と選択します。 色編集をしたい項目を選択し、色を指定してから OK ボタンを押して選択内容を保存し ます。 カスタムカラーを使うことも出来ます。 エディタ環境をデフォルト設定に戻 すには Default(デフォルト)ボタンを選らんで、OK ボタンを押します。全てのエデ ィタ機能についてフォント設定を変更するには、Font(フォント)ボタンを選んで、 利用可能な固定ピッチのフォントのリストを表示します。



Figure1: New Program Window